

事業名 CD		歴史と景観をおりなす里づくり事業
細分化した事業名		歴史と景観をおりなす里づくり事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	次代へつなぐ歴史・文化の醸成	
	小項目	地域文化の創造・継承	
関連する個別計画等		根拠条例等	文化財総合的把握モデル事業実施要項
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	神山町をモデルとして、歴史・文化的景観を活かしたまちづくりを展開するため。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民
これまでの改善経過	平成21年度までの調査成果等を踏まえ、市としての文化財の保存活用の指針を策定。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 ■補助金 ○その他(0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神山町在住者を中心とした市民及び韮崎市歴史文化基本構想等策定委員会の専門委員による歴史・文化的景観の構成要素の調査。 ・調査に基づき、韮崎市歴史文化基本構想を策定。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・韮崎市の歴史・文化的景観を構成する要素を継承・活用し、まちづくりを行う手法を検討し、構想・計画を策定し、今後の指針を提示。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	1,602	1,713	2,704
財源内訳	国庫支出金	1,600	1,712	2,700
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	2	1	4
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.23	0.23	0.15
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,587	1,569	1,007
D	総事業費(A+C) (千円)	3,189	3,282	3,711
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	116 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	地域住民による調査 専門委員による調査 基本構想の策定に係る会議	調査区域数 建造物調査等数+区域数	0 15	3 20	5
成果指標	調査実施区域数 テーマの作成 基本構想の刊行 地域住民参加者数(人)	調査実施区域数/調査予定区域数 作成したテーマ数	0.00 0 0	0.75 5 380	完了 340
効率指標	進捗率(%)		80.00	80.00	100.00

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない これまでになかった文化財の保存・活用の方針を決めるためには、市民・行政・有識者による検討が必要であり、運営方法は妥当。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 基本構想を策定し、文化財の保存・活用を通じてのまちづくりの方向性を示すことができた。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 専門的調査については策定委員会の専門委員に依頼し、構想のアウトライン・資料等の作成をコンサルに委託し、経費軽減を実現。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 文化庁委託事業として実施している蕪崎市歴史文化基本構想の次のステップとして、歴史まちづくり法等に向けて庁内プロジェクト・ワーキングなどで検討を行う。同時に、歴史文化景観の基礎的把握を継続する。	(2) 24年度 平成23年度に検討した事項のうち、実施可能な事業について直接実施、補佐的な立場で実施する。	(3) 23年度 H22年度に策定予定の歴史文化基本構想をもとにして、構想の具現化に向けて実施計画等を検討する。なお、検討に当たっては他部署(企画・都市計画・農林等)、地域、有識者と推進する。
	22年度の改善計画		
	22年度の改善結果		
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	まちづくりは、行政主導で進めるのではなく、地域の方々と一緒になって進めることが大切であるため、庁内の関係部署が連携し、地域の方々のまちづくりの思いを支援していく。		